

番号-所属	番号-通番	事業名	担当課名
2240020	1	全国公立短期大学協会会費	総務管理課
2240020	2	全国栄養士養成施設協会会費	総務管理課
2240020	3	日本衣料管理協会会費	総務管理課
2240020	4	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜負担金	総務管理課
2240020	6	岐阜地域創発人材育成プログラム（SPARC事業）	総務管理課
2240020	7	「NOBI」プロジェクト	総務管理課

【1.基本情報】

事業名	全国公立短期大学協会会費									
担当部名	女子短期大学					担当課名	総務管理課			
実施方法	補助等		補助等の種類		加入団体負担金		実施主体	全国公立短期大学協会		
開始・終了年度	昭和	25	年度～			年度	根拠法令・関連計画	学校教育法第83条		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		全国の公立短期大学を会員とし、その連絡を密にし、その協力によって公立短期大学の健全な発展を図る。								
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		・公立短期大学相互の連絡に関する事業 ・関係官公庁、関係団体及び他の大学協会との連絡に関する事業 ・公立短期大学における研究及び教育の振興、発展に関する事業 ・短期大学基準の制定及び改善に関する事業								
事業の 対象	何を	会議・研修の開催、会員校実態調査の実施・報告書の発行、情報収集・情報提供活動等								
	誰に	教職員(44人)、学生(322人)								
	どのくらい	学生定員400人×474.25円＋均等割額416,000円								
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		—								

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	33	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	33	1

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	639	606	606
決算額(C)	639	606	606
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	671	638	639

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	—	—	—

【5.収支(インプット)】

市負担額一般財源(D-F)	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	671	638	639

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

アウトカム評価（活動に基づく成果）

【7.観点評価】

【8.総合評価】 (定量評価及び定性評価を踏まえた評価)

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	35 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
全国の公立短期大学を会員とし、すべての会員から負担金は徴しており、必要である。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号	2240020	002
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	全国栄養士養成施設協会会費									
担当部名	女子短期大学					担当課名	総務管理課			
実施方法	補助等		補助等の種類			加入団体負担金	実施主体	一般社団法人全国栄養士養成施設協会		
開始・終了年度	昭和	33	年度～			年度	根拠法令・関連計画	—		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		栄養士養成に係わる厚生労働省からの通達内容等について同協会の対応を知ることにより、本学科のカリキュラムに適切に反映でき効果的に学生教育を行うことが可能となる。支部会で中部圏の栄養士・管理栄養士養成に係わる教員間の交流を通して学生指導における共通の問題解決法を持てる。今後も興味ある実習・実験付き研修会も授業に差し障りない範囲で参加し、日頃の研鑽に努めたい。								
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		・栄養士養成施設の教員の資質向上に必要な研修会、研究会、講演会、講習会への参加 ・栄養教育の振興に関する教材、資料等の受領 ・月報の受領 ・国民栄養の確保改善に関する情報の取得								
事業の対象	何を	月刊誌の全栄養協月報を食物栄養学科内で回覧し、食物栄養に関する知識や栄養士養成に係わる情報源としている。また、毎年の学位授与式に学生に対して同協会会長賞の賞状が授与されている。								
	誰に	健康栄養学科教員(8人)、学生(95人)								
	どのくらい	学科学生定員100人×400円＋基本額90,000円								
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		—								

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	33	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	33	1

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	138	138	130
決算額(C)	138	138	130
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	170	170	163

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	－	－	－

【5.収支(インプット)】

市負担額一般財源(D-F)	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	170	170	163

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	月報受領		単位	部
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値	12	12	12	12
実績値	12	12	12	12
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	栄養士の輩出			
指標	栄養士資格取得		単位	人
	令和4年度	令和5年度		令和6年度
目標値（以上）	37	58		41
実績値	36	51		40
達成率	97.3%	87.9%		97.6%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準		根拠となるデータ等・評価の説明 （評価基準に適合することを示す具体的な数値等）
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	3	5	ニーズが高く必要性が高い（データを明記）	栄養士養成に係わる厚生労働省からの通達内容等について同協会の対応を知ることにより、本学科のカリキュラムに適切に反映でき効果的に学生教育を行うことが可能となる。支部会で中部圏の栄養士・管理栄養士養成に係わる教員間の交流を通して学生指導における共通の問題解決法を持てるなど必要である。
			3	ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1	必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5	制度の主旨等から市以外が実施できない	栄養士養成施設である市の高等教育機関であり、必要である。
			3	市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1	市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5	効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している（金額を明記）	栄養士養成に係わる厚生労働省からの通達内容等について同協会の対応を知ることにより、本学科のカリキュラムに適切に反映でき効果的に学生教育を行うことが可能となる。支部会で中部圏の栄養士・管理栄養士養成に係わる教員間の交流を通して学生指導における共通の問題解決法を持てるなど効率的である。
			3	効率化によりミスが防止される、作業負担が軽減されるなど生産性が向上している	
			1	効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	1	5	データの比較などにより、因果関係を示すことができる（データの分析内容を明記）	栄養士養成に係わる厚生労働省からの通達内容等について同協会の対応を知ることにより、本学科のカリキュラムに適切に反映でき効果的に学生教育を行うことが可能となる。支部会で中部圏の栄養士・管理栄養士養成に係わる教員間の交流を通して学生指導における共通の問題解決法を持てるなど効果がある。
			3	相関関係を示すデータがある	
			1	つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	12/15	達成率20%ごとに1点(100%まで) (実績のないものは直近の達成率により計算)		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5	将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	栄養士養成に係わる厚生労働省からの通達内容等について同協会の対応を知ることにより、本学科のカリキュラムに適切に反映でき効果的に学生教育を行うことが可能となる。高齢化社会において、食と健康を司る栄養士の育成は重要である。
			3	将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1	将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	1	10	未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	市の計画には直接関係していないが、栄養士の育成は、健康寿命を高めることにつながる。
			8	未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5	事業が市の各種計画に定められている（計画名を明記）	
			3	事業の一部が市の計画に関係している（計画名を明記）	
			1	事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	30 50	継続	・40点以上:拡充 ・25点以上:継続 ・15点以上:改善 ・0点以上:縮小・廃止
	栄養士養成に係わる厚生労働省からの通達内容等について同協会の対応を知ることにより、本学科のカリキュラムに適切に反映でき効果的に学生教育を行うことが可能となる。支部会で中部圏の栄養士・管理栄養士養成に係わる教員間の交流を通して学生指導における共通の問題解決法を持てるなど必要である。						

【1.基本情報】

事業名	日本衣料管理協会会費									
担当部名	女子短期大学				担当課名	総務管理課				
実施方法	補助等		補助等の種類		加入団体負担金	実施主体	日本衣料管理協会			
開始・終了年度	昭和	46	年度～		年度	根拠法令・関連計画	—			

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		認定基準を満たす実務対応の教育を行うことにより、衣料管理士2級取得者にふさわしい知識と技術を備え、専門家としてファッション産業に貢献できる人材を輩出していくこと								
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		・テキスタイル・ファッション分野の技術情報の取得 ・繊維製品に関する法令・法規の変更情報の取得 ・衣料管理士養成教員研修のための講演会・企業見学会への参加 ・繊維製品の品質管理に関する講習会・研修会への参加								
事業の対象	何を	衣料管理士2級取得に必要な教育の実施、必要な設備の維持と教員レベルの確保、TA2級資格の認定								
	誰に	デザイン環境学科学生及び教員								
	どのくらい	学生数2学年(60人)×800円＋基本額130,000円								
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		—								

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	33	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	33	1

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	178	178	178
決算額(C)	178	178	178
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	210	210	211

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	－	－	－

【5.収支(インプット)】

市負担額一般財源(DーF)	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	210	210	211

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

アウトカム評価（活動に基づく成果）

【7.観点評価】

【8.総合評価】 (定量評価及び定性評価を踏まえた評価)

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	32 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
認定基準を満たす実務対応の教育を行うことにより、衣料管理士2級取得者にふさわしい知識と技術を備え、専門家としてファッション産業に貢献できる人材を輩出していくために必要である。							

【1.基本情報】

事業名	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜負担金									
担当部名	女子短期大学				担当課名		総務管理課			
実施方法	補助等		補助等の種類		加入団体負担金		実施主体	県内高等教育機関及び岐阜県		
開始・終了年度	平成	10	年度～			年度	根拠法令・関連計画	—		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		県内の高等教育機関が連携し、それぞれの魅力を高めるとともに、地域における知的活動の中心として、高等教育に対する多様なニーズに的確に対応し、地域社会の発展に寄与する。								
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		・共同授業の企画・運営 ・包括的単位互換制度の企画・運営 ・高等教育機関の連携に関する検討・研究等								
事業の 対象	何を	共同授業や単位互換授業の受講、学生による地域課題解決提案事業の企画・参加、フォーラムの参加等								
	誰に	県内高等教育機関の学生(22,449人) 本学学生(322人)								
	どのくらい	本学学生数(322人) 81,129円(均等割53,813円＋学生割29,222円-3年度精算額1,906円)								
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		変更なし								

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	33	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	33	1

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	77	74	67
決算額(C)	77	74	67
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	109	106	100

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

市負担額一般財源(D-F)	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	109	106	100

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

アウトカム評価（活動に基づく成果）

【7.観点評価】

【8.総合評価】 (定量評価及び定性評価を踏まえた評価)

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	18 50	改善	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
県内の高等教育機関が連携し、それぞれの魅力を高めるとともに、地域における知的活動の中心として、高等教育に対する多様なニーズに的確に対応し、地域社会の発展に寄与するために必要である。							

【1.基本情報】

事業名	岐阜地域創発人材育成プログラム(SPARC事業)									
担当部名	女子短期大学				担当課名		総務管理課			
実施方法	その他		補助等の種類				実施主体	岐阜市立女子短期大学		
開始・終了年度	令和	4	年度～			年度	根拠法令・関連計画	文科省 人材育成連携拠点形成費補助金交付要綱		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		SPARC事業構成大学と連携し、地域社会の課題解決につながる活躍や共生ができる人材の育成に取り組む。→岐阜女短を魅力度UPする。								
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		・大学等連携推進法人(連携法人)※を設立、地域連携プラットフォーム(PF)と連携し、目的に資する教育プログラム(連携開設科目)を開発する。 ・活用場として県内3か所に地域ラボを開設し、共同利用する。 ・岐阜女短は、全学で実施するデータサイエンス(DS)と地域課題解決プログラム(岐阜学)の充実に向け、大学間で連携する。								
事業の 対象	何を	地域に必要とされる人材の育成								
	誰に	学生、教員、地域								
	どのくらい	11,727千円								
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		変更なし								

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	33	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	33	1

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	4,454	9,664	9,868
決算額(C)	4,482	9,915	11,727
差額(B-C)	-28	-251	-1,859
執行率(C/B)	101%	103%	119%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	4,514	9,947	11,760

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	4,454	9,664	9,868
決算額(F)	4,454	9,664	9,868
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	100%	100%	100%

【5.収支(インプット)】

市負担額一般財源(D-F)	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	60	283	1,892

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

アウトカム評価（活動に基づく成果）

【7.観点評価】

【8.総合評価】（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	33 50	改善	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
岐阜大学、中部学院大学との文科省補助事業としての連携事業であるため、継続する。							

【1.基本情報】

事業名	「NOBI」プロジェクト									
担当部名	女子短期大学				担当課名		総務管理課			
実施方法	その他		補助等の種類				実施主体	岐阜市立女子短期大学		
開始・終了年度	令和	6	年度～			年度	根拠法令・関連計画	「NOBI」プロジェクト(企画部)		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		岐阜市全体で推進する「NOBI」プロジェクトにおいて、本学教育分野と一宮市の特徴ある産業分野を連携させることで相互にメリットを求めることを目的とした連携事業。								
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		本学学生が、尾州生地で作成から関わりをもち、一宮市ゆかりの尾州生地を使用した衣装を制作し、岐阜市でファッションショー、一宮市において、展示会等を行い、連携及び成果とファッションの重要性を、相互の市民等にアピールする。								
事業の対象	何を	尾州生地を使用した衣装の制作、発表								
	誰に	本学学生、一宮市事業者、岐阜市民、一宮市民								
	どのくらい	586千円								
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		変更なし								

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	33	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	33	1

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	0	0	568
決算額(C)	0	0	568
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	-	-	100%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	0	0	601

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

市負担額一般財源(D-F)	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	0	0	601

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

アウトカム評価（活動に基づく成果）

【7.観点評価】

【8.総合評価】 (定量評価及び定性評価を踏まえた評価)

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
				現状維持	25 50	改善	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
一宮市からの学生確保に結びついておらず、見直しを検討する。							